

2017/3/19

## (日々雑感 53)



自分が幸せであることと、人に幸せを「見せつける」ことは全く違います。自分がリア充であることと、人にリア充を「見せつけること」も同じように全く異なります。幸せを見せつけることをまず、最初に思い浮かべるのは、幸せではないことの告白みたいなものです。

同じくリア充を見せつけることもリア充ではないことの逆説的な証明でしかありません。それは、虚勢だからです。まるで満たされていないのです。

虚勢の「虚」の字は、空っぽとかむなしという意味です。虚仮威し（こけおどし）に使われる「虚（こ）」と同じ意味です。一種の脅し（おどし）や見せかけでしかないのです。実態無き幻影とでも言いましょうか。疲れるだけの事柄なのです。経済記事的に言えば「利益無き繁忙」といえなくもありません。

例えば SNS である人が

「もちろん世界初だ」と言ったとします。

「もちろん」ならわざわざ言う必要はないのです。「当たり前」だと言っているのだから、ニュース価値がない訳でしょう？

「図らずも世界初になってしまいました」なら分かります。意外性がある、ニュース価値もあるし、心証的にも好ましいからです。

そんなわけで、いい加減鬱陶しくもあるので、最近、SNS のリア充記事は殆ど見なくなりました。

SNS を使うのは、自分の記事掲載の告知のみにするようにしています。自分の意見は成る丈自分のサイトでのみ書くように努力しています。このやり方は、ある友達から教わって、なるほどなあと思ったので、そうするようになりました。

話は代わって「広告」というものがあります。

広告を紐解くと宣伝+告知となります。告知は良いのですが、問題は宣伝です。

宣伝とは、自分で自分を世界一だというような極めていい加減で手前味噌な事柄だし、そも

そも普通の生活空間の中で「自分が一番だ」などと声高に言う大人がいたら「キモイヤツ」と思われるのがオチなだけなので、どうも好きになりませんし、したくもないのです。しかし、会社を興したとなると、食べるためには最低限、宣伝もしなくてはなりません。そこがアタマの痛いところです。そこをもっとスマートに出来ないものか？と最近頭を悩ませております。

出来れば宣伝をせずに、告知の内容がダントツで素晴らしいと言うようなことをしないとイケないんだろうな？とか、考えたりもしているのですが、ここでも毎度おなじみの言葉「至難の業」が顔を出してくるのです。

やはり結構、辛い日々ではあるのです。

(追記)

今日はちょっと、沖縄出身の貧乏詩人、山之口獺風に書いてみました。文体に限ってのことですが。